

東京のうたごえ協議会総会で 80周年記念祭典開催を決定！



東京れぽと

発行
東京の
うたごえ協議会
Tel:
03-3200-4977
Fax:
03-6801-7399
Email:touukyou
@max.odn.ne.jp

三月一六日(日)調布市文化会館た
づくりにて2025年東京のうたごえ
協議会総会が開催されました。

総会は加盟する
72団体、2個人か
ら当日参加は42団
体、代議員43名、評
議員19名の参加、
委任状27で成立し
ました。

最初に東京慈恵
会医科大学名誉教
授で憲法研究者の
小沢隆一さんに講
演していただきま
した。(裏面)

24年度総括、25年
度方針案の提案後
は討論で15件18名
が発言しました。

その後24年度決
算、25年度予算提
案があり、議案、24
年決算、25年予算
が採決され承認さ
れました。

25年度常任委員、
会計監査も選挙で
選出されました。

今年度の活動方針

総会で承認された25年
度の活動の柱は次の8点
になります。

一 うたごえ80周年に向
かい、運動の発展をめざ
してともに歌う「輪」を広
げ、都内全市区町村にう
たごえを響かせましょう。
そして若い新しい仲間を
迎えましょう！
二 人々の願い、要求を反
映した歌を創り、広め、
新たな結びつきを生み出
しましょう。(演奏創造創
作)
三 うたごえの仲間の励
まし合いを強め、新しい
仲間を増やし、元気な魅
力ある協議会づくりをす
すめましょう。(組織建設)
四 「うたごえ新聞」の魅
力を広げ、読者の輪を広
げましょう。

80周年日った祭典

五 合唱発表会運動を充
実・発展させ、演奏を磨き
あい交流しあいましょう。
六 学んでうたごえを魅
力的に！講習会、「東京ま
なび企画」などを力に、学
ぶ喜びを広げましょう。
七 うたごえを運び、運
動を元気にする事業活動
を旺盛にすすめましょう。
八 連帯活動など

うたごえ80周年に向け、
うたごえが都内全市区町
村に響き広がり、多くの
都民の願い、要求とむす
んでともに歌い、東京のう
たごえの輪が大きく広が
ることをめざします。

そしてうたごえの80年
の歩みと社会的貢献を継
承し、さらにその後の運
動が発展することをめざ
し、運動の若い新しい担い
手を得られるように働き
かけをすすめます。

このとりくみの創造的・
組織的収斂の場として、
28年度に「うたごえ80周
年記念日本のうたごえ祭
典」を東京で開催するこ
とを昨年からの議論を重ね
総会で決議しました。

2025年度新役員

会長	轟志保子	中央合唱団	常任委員	外山靖雄	電通西南コーラス
副会長	大井かつ江	南部合唱団	常任委員	小林悦子	みなと合唱団
副会長	佐宗弘雄	合唱団TOSEI	常任委員	中澤俊之	東京郵便合唱団
副会長	鈴木勝雄	調布狛江合唱団	常任委員	山崎慶晴	私鉄池袋ターミナル合唱団
副会長	竹澤まみ	三多摩青年合唱団	常任委員	山崎やす代	江戸川保育のうたごえサークルふくじゅ草
副会長	山田千賀子	合唱団北星	常任委員	吉尾知恵子	墨田区保育園うたごえサークルどんぐり 新
事務局長	椎橋亨	中央合唱団	常任委員	堀江泰信	合唱団この灯
事務局次長	益子ヒロミ	文京新婦人コーラスあしたば	常任委員	前澤裕子	杉並ぞうれっしや合唱団
常任委員	井上澄枝	新婦人練馬支部コーラスミル 新	常任委員	渡辺うめ	足立保育のうたごえ つくしんぼサークル
常任委員	井藤綾子	合唱団白樺	会計監査	松本良子	絹の道合唱団
常任委員	岩崎あすか	東京青年のうたごえ	会計監査	小林信一	しじゅうから 新
常任委員	片山操子	絹の道合唱団			
常任委員	加山忠	南部合唱団			
常任委員	古谷八代恵	調布狛江合唱団			
			逝去により退任	外山靖雄	電通西南コーラス

石破政権の憲法破壊と改憲にどう立ち向かうか

たたかいは歌声とともに

小沢教授の講演から考える

一石破茂の危険な憲法・改憲論と安全保障観

(1) 政治家としての生い立ち 政界での位置・真正正銘の「二世議員」恩師・田中角栄

自民党離党←新生党参加(小沢一郎らと)←新進党離党・自民党復党・「一言居士」防衛族(軍事オタク) 安全保障基本法に執着 改憲よりも安保?

(2) 危うい安全保障観と改憲論
①「アジア版ATO」構想 アメリカ・同僚閣僚からも支持されず、アジアからも猛反発
②(ともかく)安全保障基本法 改憲よりも先(改憲は後回し、改憲には執着せず?)
③特異な日米地位協定改定論 自衛隊もグアム・米本土に「沖縄のため」ではない!
怪しい学習能力・狭い問題関心 「原則論は言

うけれども具体策に乏しい



講演する小沢さん

二石破政権成立・24衆院選(与党過半数割れ)という現局面の意味
(1) 30年の憲法情勢を振り返って一急がば回れ・注目すべき「9の年」と「4の年」 それらの「因果」関係 「応報」関係
①89年 リクルート事件「政治改革」論 ベルリンの壁崩壊
②94年 「政治改革」(小選挙区制、政党助成企業・団体献金は温存)
③99年 小渕自公政権悪法「総ざらい」 周辺

事態法・国旗国歌法・盗聴法:

④04年 小泉構造改革・イラク派兵に国民の不満噴出 九条の会 ビラ配布弾圧

⑤09年 衆院選自民党大敗 民主党政権(小選挙区制効果)

⑥14年 集団的自衛権容認7.1閣議決定 15年安保法制へ

⑦19年 学術会議任命拒否(2020年)の準備 軍事研究推進の動き 大軍拡の予兆

⑧24年 衆院選再び自公大敗(過半数割れ) 「裏金」問題

(2) 憲法情勢30年の小括
・「せめぎ合い」の30年 一方的に押し込まれてはいない 攻防の連続
・9条明文改憲を押しとどめてきたことの意味
・その中の九条の会設立の意義
・「匍匐前進」の9条改憲策動 明文改憲は果たせず「解釈改憲」・既成事実による「壊憲」
三現局面をどうとらえる

か

(1) 日米核軍事同盟の強化
・進む日米核軍事同盟体制 とくに岸田政権下での急速な進行
22年「安保3文書」
大軍拡・装備充実・基地機能の強化・指揮命令系統の連携
・「口実」としての「安全保障環境の変化(悪化)」
中国 経済発展・海外進出と急速な軍拡 北朝鮮 核ミサイル開発 韓国の動揺 尹大統領他方で革新派は対日強硬派



講演を聴く参加者

これらは「なぜ」起きているのか? 「疑心暗鬼」は禁物
・東アジアの平和のためになすべきこと

(2) ウクライナ問題・ガザ問題
・国連(憲章)の意義と限界
意義 国際紛争の平和的解決の原則樹立 「集団安全保障措置」は「伝家の宝刀」
限界 大国主義・軍事同盟体制の温存 イスラエル「植民地主義」を容認
根深いロシア・ウクライナ問題
・それでも大切な国連体制
国連総会の意義・役割 核兵器禁止条約の前進(被団協ノーベル平和賞)
国際人道法の発展 平和的な外交交渉こそ決め手(武力による解決は期待できない)
・平和な国際社会の展望 核兵器の廃絶 軍拡から軍縮への転換
軍事同盟体制の打破 外国軍基地の撤去(沖縄・グリーンランド・ディエゴ・ガルシア)
→24.英・領有権を放棄
モリシヤスに移譲を宣言
(3) 改憲勢力との対決 点一平和と自由・民主主義の全体で
・自民党改憲派の統一協会との癒着・「裏金」問題
「自由」でも、「民主」でもない自民党 自浄能力の欠如
・改憲応援団(旗振り役)の登場
維新・国民民主の台頭の意味 「新自由主義」+改憲の勢力
国民民主 「103万の壁」の欺瞞 問題はそれだけではない 生活費非課税原則の徹底
維新 保険料低減提案 どうする医療・年金 現役世代と高齢者の「分断」
・米トランプ政権2025.2.2 開始 大軍拡と武器爆買いの押しつけ 「核の傘」の継続・推進
・憲法を守る市民と野党の共闘 野党連合 その意義と困難・課題 可能性

小沢隆一(東京慈恵会医科大学名誉教授・憲法研究者・九条の会事務局員)
・前号でシニア合唱団の松本さんの写真の説明が間違っていました。お詫言ひして訂正します。
・総会発言及び記念講演につきましては次号に掲載します。